



一般社団法人 日本アミューズメント産業協会 平成 30 年度定時総会、開催

一般社団法人日本アミューズメント産業協会(略称 JAIA)の「平成 30 年度定時総会」が6月6日(水)16 時～、ホテルオークラ(東京都港区)別館地下2F「アスコットホール」において開催された。

今年 4 月 1 日、旧・全日本アミューズメント施設業者協会連合会(AOU)と旧・日本アミューズメントマシン協会(JAMMA)が統合、新生 JAIA として初となる総会。これにより JAIA がいよいよ本格始動となった。総会出席者145名(パーティ 200 名)。

JAIA

議事審議に先立ち、JAMMA 里見治会長が挨拶。10 年以上の準備期間を経て統合が実現したことに対し、喜びを表明するとともに、一体化し大きな組織になった中で会員が協力し合い、より良い業界に発展していけたらとの思いを語った。(内容は3P)

続いて、来賓としてご臨席いただいた警察庁生活安全局保安課の山田好孝課長、経済産業省製造産業局産業機械課の片岡隆一課長が紹介され、それぞれご祝辞(内容は2～3P)を賜った。なお、両氏はご公務の都合により、ここで退席。

JAIA

里見会長が議長に選任され、事務局からの出席者報告(正会員 218 社・議決権数 9882 のうち、委任状含めた出席会員数 198 社・出席者議決権数 9728)で定足数を満たし総会が有効に成立することを確認後、議長が議事録署名人として、内田慎一氏((株)友栄代表取締役社長)および中川実氏(三精テクノロジー(株)代表取締役会長)を指名。以下の審議に入った。

〈第1号議案〉

平成 29 年度事業報告、決算報告及び監査報告承認の件

事務局の菊池陽事務局長より、平成 29 年度事業報告及び決算報告(旧・日本アミューズメントマシン協会分)の説明がな

され、次に吉川昌之氏(旧 JAMMA 監事)が「平成 29 年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録および公益目的支出計画実施報告書を監査した結果、適正である」と報告。全会一致で承認となった。

なお、旧・全日本アミューズメント施設業者協会連合会(AOU)に関しては 3 月 31 日をもって解散しており(3 月 5 日の臨時総会で決議)、同日付の事業報告及び決算報告、5 月 10 日実施の監査報告を記した平成 29 年度事業報告書・決算報告書の概略が事務局長より説明された。

〈報告事項〉

平成 30 年度事業計画及び収支予算の件

平成 30 年度事業計画書及び収支予算書に基づく説明が事務局長から行われ、その中で、新設された「法規部」に関し柴田健氏(旧 AOU 専務理事)が補足。「旧 AOU では営業及びゲーム機器の風適法上の諸問題に関し、法令上の疑問点などについて警察庁・都道府県警察等と協議・意見交換などをしてきたが、法規部はその業務を引き継ぐ部門。これまで同様、実務上、専務理事以下が窓口となり活動を推進していく。メーカーの方々におかれても疑義ある場合は窓口にご相談を」と述べた。

※AM マシン事業部・遊園施設事業部の事業計画は5P に、施設営業事業部の事業計画は3月号に掲載。

〈第2号議案〉

任期満了に伴う役員改選の件

事務局長より、資料の役員候補者名簿に記載の理事 28 名、監事 2 名が示され全会一致で候補者の役員就任を承認。

JAIA

その後、一時休憩し、17 時 10 分～再開。休憩の間に実施された第2回理事会(3P 参照)にて互選した正副会長、専務理事、常務理事、常任理事及び組織図(4P 参照)が報告された。

AOU、JAMMAが残した軌跡をこれからはJAIAが、新たな未来に向かい繋いでまいります。

来賓挨拶



警察庁生活安全局保安課

山田好孝課長

本日は、一般社団法人日本アミューズメント産業協会（JAIA）の定時総会がめでたく開催されたこと心からお慶び申し上げます。

また、ご列席の皆様におかれましては、平素から警察行政の各般にわたり深いご協力をいただいておりますことに対しまして、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

ゲームセンター等営業に関しましては、これまでAOUが長年にわたり、業界の中核組織として、業務の適正化、営業の健全化等のため多大なご尽力をされてきたほか、地域懇談会等地域社会との相互理解を深めるための活動、青少年の健全育成を目指した活動や社会奉仕活動を全国的に展開されてきたと承知しております。

AOUが行われてきたこれらの事業については、引き続き貴協会の施設営業事業部が行われるとうかがっております。貴協会には、合併統合の効果を最大限に発揮し、これまで以上に業務の適正化、営業の健全化等に大きく貢献していただけるものと期待しているところであります。

さて、ゲームセンター等営業に関しまして、平成29年末の営業所数及び遊技設備設置台数は、ともに前年に比べて減少しているものの、1営業所当たりの遊技設備設置台数は増加傾向にあり、営業所の大規模化がみられる状況でございます。

また、平成29年中の5号営業に係る行政処分の状況を申し上げますと、処分件数は、昨年に比べて17件増加の120件で、その内訳は、取消処分が6件、営業停止処分が1件、指示処分が113件となっております。

その違反態様については、「構造設備の維持義務違反」、「変更届出義務違反」、「従業者名簿備付け・記載義務違反」が大部分を占めております。

なお、昨年末から年始にかけてゲームセンター営業でのプレイズゲーム機を利用した詐欺事件の検挙がマスコミ等で大きく取り上げられたところであります。

ゲームセンターは、児童や年少者の利用が多く、今や家族で訪れるアミューズメント施設であると認識されていることから、貴協会におかれましては、この事件を「他山の石」とし、引き続き業務の適正化に向けた活動を推進されますようお願い申し上げます。

次に、最近のゲームセンター等営業に関しまして、VR（バーチャルリアリティ）やAR（拡張現実）を取り入れた形態の遊技設備がみられるなど、新たな技術の導入が進んでおり、遊技設備をVRに特化した営業も行われているものと承知しております。

警察といたしましては、このような事情を注視しつつ、国民のライフスタイルや意識の変化等を勘案し、業務の適正化を促進する措置を講じるとともに、積極的な指導取り締まりを行うことにより、ゲームセンター等営業の一層の健全化等に努めてまいりたいと考えております。

皆様におかれましては、引き続き適正な営業を推進していただきますようお願い申し上げます。

次に、店舗における防犯対策等についてであります。

平成29年中におけるゲームセンター等の営業所における犯罪の発生状況を申し上げますと、刑法犯認知件数は前年に比べて429件減少の3,633件で、このうち窃盗犯が全体の約8割を占めており、置き引きが窃盗犯の約6割を占めております。

犯罪の未然防止のため、巡回の強化や防犯設備の充実、不審者・不審物等発見時の通報の徹底といった店舗における防犯対策、警備対策等を引き続き徹底していただき、「安全で安心して楽しめるアミューズメントパーク」のため、ご尽力いただきますようお願い申し上げます。

次に、地球温暖化対策に関するお願いであります。貴協会の会員はこれまで、地球温暖化対策に関し電気使用量の低減に向けた各種取組等を積極的に推進していただいたと承知しております。

平成25年度以降は、低炭素社会実行計画によって新たな数値目標を掲げ、引き続き節電等の対策に取り組みされている業界全体の取組をさらに確実なものとする

ため、貴協会による指導力を発揮し、より一層の尽力をお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会のますますのご発展と、本日もご列席の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

来賓挨拶



経済産業省製造産業局産業機械課

片岡 隆一課長

本日は旧JAMMAおよび旧AOUの統合後はじめての総会が無事開催され、新たなスタートを切られたことを心からお慶び申し上げます。

これまで経済産業省の産業機械課として私は機器部門のアミューズメント業界を担当していたわけですが、今回の統合で施設運営の部門とコラボレーションされた貴協会に対し、それによるシナジー効果が出ることを期待しております。

里見会長のお話にもあった通り、昨今のアミューズメント業界に関しては良い状況が続いています。これには色々なことが影響していると考えられますが、一つにはメーカーから良いマシンが出てきて、そのマシンを施設運営側がしっかりと使っているということ。良い形の流れ、好循環ができてきていると思っております。統合を機に業界がさらに発展することを祈念申し上げます。

今年2月、幕張メッセにて開会議との合同で行われた「JAIEP2018」に、昨年に引き続きお邪魔しました。

本日に様々な技術がますますアミューズメント機器に搭載されていることを大きく感じました。

電子マネー・電子決済システムの展示も見られました。キャッシュレスについては、日本では進みにくい現状ですが、お隣の中国では屋台でもモバイル決済が当たり前のよう

に行われ、スマホによる決済はアメリカの10倍以上という統計もあります。電子マネーは気軽に良い意味でお金を使えます。人手不足が日本全体の課題となつている今、消費者の財布の紐を少し緩めるといふ観点に加え、運営面のコストをうまく下げていくという観点から、電子マネー・電子決済への取り組みを期待しています。また同時に、JAEPOでは、私もマシンを体感させていただき、かつてとは違ったタイプのマシンが出ていることを実感しました。

AR(拡張現実)、VR(バーチャルリアリティ)に関わる技術により、アミューズメント業界がマシンの領域をどんどん広げておられます。今、日本には世界各国から大勢の外国人におこしいただいていますが、その外国の方々にも楽しんでいただけるものと考えます。

アミューズメント業界におかれましては、そうした新しい技術で、メーカーと施設運営者が一体となつて色々なイノベーションを起こしていただきたいと思ひます。

最後になりますが、本日お集りの皆様のお健勝、ご活躍、統合されました業界の今後のますますのご発展を祈念して私の挨拶とさせていただきます。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

JAIA 会長挨拶



一般社団法人日本アミューズメント産業協会

里見 治

今年4月1日にJAMMAとAOUが統合し、本日、日本アミューズメント産業協会(JAIA)として最初の総会を迎えました。

両団体の一本化につきましては、業界として10年以上前から動いており、監督官庁である警察庁、経済産業省のご理解をいただき、いよいよ発足となりました。私自身の率直な思いとして、良かったなと感じておりま

す。

また、本日はお忙しい中、ご来賓として警察庁の山田様、経済産業省の片岡様に臨席いただきまして、心より感謝申し上げます。

アミューズメント業界は、下降していた売上が底をうち、3年くらい前から、毎年数%ずつアップしてきたという状況です。これも、警察庁のご理解のもと風適法改正が実現し、多くの都道府県条例が改正されて保護者同伴時の年少者立入規制時間が緩和されたことが大きな要因でしょう。

条例改正後、これまで施設での大きなトラブルはありません。かつては夕方6時に16歳未満のお子さんの退店をお願いしていた際、親が一緒なのにどうして帰らなさいいんだというお客様からの苦情も少なくありませんでしたが、条例改正後はそうしたトラブルがなくなり、店舗スタッフも安堵しているという状況です。

JAMMAとAOUが一本化したなかで、行政からご理解をいただける施設営業をこれからも続けてまいります。まだまだ当局にはお願ひしていきたい課題もございいますので、しっかりとした営業を行い、そのうえで次なる課題もお願ひしていければと考えております。

JAMMAの会長であつた私が、今、JAIA発足総会この会場を見直し、JAMMA総会時の倍以上の会員にお集まりいただいている状況を目の当たりにして、大きな組織になつたなと感じています。そして、ここに並んでおります理事の方々も勉強しながら、業界発展のためには是非、次の課題をクリアしていかなければと改めて思つております。

世界を見渡すと、北朝鮮問題、中東情勢等々、色々な問題がありますが、エンターテイメント業界は平和あつてこそのものであります。良い方向で収束し、世界が平和となることを願つています。

いずれにしても、4月からJAIAとして一本化したからには、メーカーと施設運営側、皆で協力しあつて良い業界に発展していけたらと思つています。それに向け、私も微力ながら努力していく所存です。



第2回理事会

同日開催のJAIA 平成30年度定時総会・第2号議案「任期満了に伴う役員改選」により新任決定された新役員(28名の理事ならびに3名の監事)により、正副会長、専務理事、常務理事、4名の常任理事を互選。被選任者はいずれも就任を了承した。新役員は5~6ページ。

日時/平成30年6月6日(水) 17時~17時5分
場所/ホテルオークラ東京 アスコットホール
出席/理事 26名+監事 3名 +事務局 2名

以下を審議、承認。

- ①30年度定時総会に関する件
- ②任期満了に伴う役員の改選に関する件
- ③JAIEPO2019に関する件(31年1月25日(金)~27日(日)を会期とし、幕張メッセにて開催。なお、26~27日は開会議との合同開催とする)
- ④QRコード課金システム委員会の設置に関する件(中国ではスマホの普及により社会全体でキャッシュレス化が進行、ゲームセンターでもQRコードの課金化が定着していること、また、国内では量販店やメガバンク等でQRコードの決済規格システム統一に向けた動きがあることを受け、JAIAに特別委員会を設置することが事務局より提案され、原案通り承認)



日時/平成30年6月6日(水) 15時30分~15時50分
場所/ホテルオークラ東京アスコットホール
出席/理事・監事等 31名+事務局 2名

第1回理事会



総 会

監 事

今野 創
吉川昌之
功刀榮夫

常任理事会

里見治 会長
石井光一 副会長
柴田健専務理事
上山辰美常務理事
萩原仁 常任理事
山下滋 常任理事
中川実 常任理事
内田慎一 常任理事

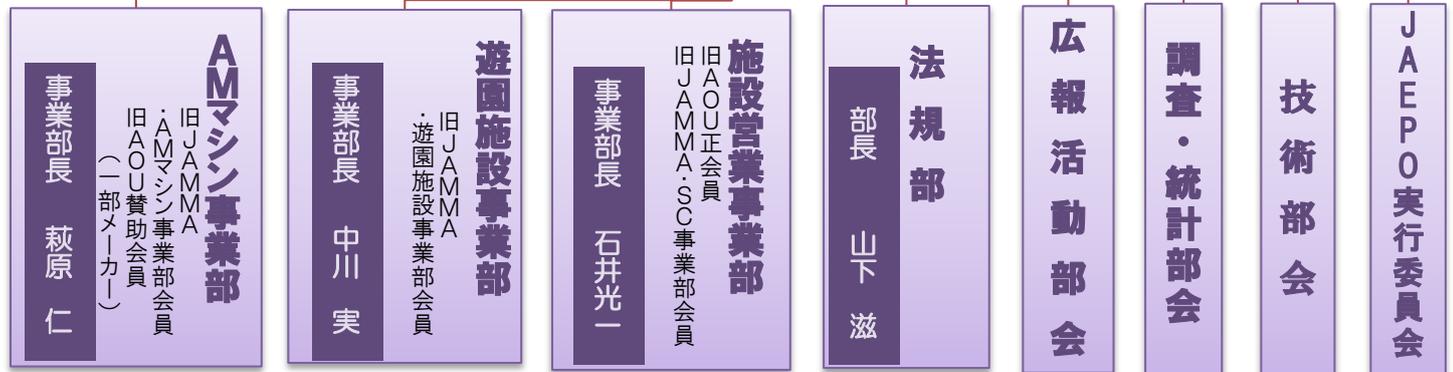
理事会

会長（代表理事） 里見 治
副会長（代表理事） 石井光一
業 務 執 行 理 事 柴田健専務理事
上山辰美常務理事
常任理事 旧 AOU・旧 JAMMA 副会長
理 事 旧 AOU・旧 JAMMA 理事



事務局

菊池陽事務局長



総会終了後、隣接する会場で懇親会が行われた。
まず、新生 JAIA の里見治初代会長が挨拶。「記念すべき第1回目の総会、懇親会。これだけたくさんの方々にご参集いただき、業界全体の活気を感じる。ゲームセンターでしか味わえないゲームの提供のため、オペレーターの色々な意見をメーカーが聞き参考にして、そこから新しい商品が生まれる体制づくり等、会員が一致団結して AM 業界が伸びるよう盛り上げていきたい」として協力を呼び掛けた。
続いて、来賓として国土交通副大臣、復興副大臣、内閣府副大臣の秋元司氏が挨拶。「ゲームを通じて子どもたちが IT に出会う。AM 業界は成長産業として頑張してほしい」とエールを送るなかで、「次なるステップ」としてリデンプションゲームと景品の上限価格の引き上げに触れ、「そのために我々も皆さんの声を行政当局に伝えるお手伝いをしたい。2030 年こは

訪日外国人観光客を年間6000万人にしていこうという時代が来る。そういう人たちに向けたサービスも必要で、業界として海外で行われている AM の導入は自然な流れ」とコメントした。
また、同じく来賓の平沢勝栄衆議院議員も、「大きく時代や社会が変化しているにも関わらず、景品の上限価格は 30 年前から変わらない」と疑問を呈し、「AM 業界を応援させていただきたい」と力強いメッセージを投げかけた。
乾杯の発声は、石井光一副会長。「2020 年に向け、まさにチャンス。VR、AR 等の新技術や 5G など、環境は整ったと感じている。メーカー、オペレーターが協力してまた一段上に進化させたい」と明るい笑顔で杯を掲げた。
旧 AOU、旧 JAMMA のメンバーが集い交流を深めた懇親会。定刻、萩原仁常任理事が登場し、「業界がますます発展するよう景気良く三本締めで」中締めが行われた。

※施設営業事業部の事業計画は4月号に既載

1. アミューズメントマシン(AM)産業に関する調査研究事業

(1) 景品提供営業のあり方に関する調査研究(AMプライズ委員会)

消費者に適正な景品を適切な方法で提供することを目的として次の事業を行う。

①「景品提供営業のガイドライン」および「景品安全確保ガイドライン」等の広告掲載を行うなど周知徹底を図り、景品提供営業の適正化を推進する。

② 業界としての適正景品を規定し、該当する旨を表示する「アミューズメントプライズマーク制度」の事業を行う。

③ オンラインクレーンゲームの適切な運営に向け、業界の自主ガイドライン制定を行う。

(2) 知的財産の確立に関する調査研究(調査・統計部会)

① 会員の有する知的財産権の確立、および保護を目的として特許・意匠等の登録出願の際に必要な上・商標の使用等、証明書発行を行い、会員の知的財産権の確立に協力する。

② 会員相互の知的財産権に係わる国内外問題を支援するため、研修会・勉強会等の実施に向けた取り組みを行う。

③ 会員の商品開発、およびこれに伴う技術開発に関する情報の蓄積に資するため業界誌等による情報収集を行うとともに、会員がいつでも閲覧できる環境を維持する。

(3) AM機の健全化及び啓蒙に関する調査研究(倫理委員会)

① AM機の健全性を保ち、消費者に適正なアミューズメントマシンを提供するための表示マーク制度を「健全化を阻害する機械基準」に基づいて運用し、健全な機械の製造、販売及びオペレーションが適切に行われるよう表示マーク制度の啓蒙活動を行う。また、業務用V

R機器等における映像表現について検討を行うとともに、必要に応じ機械基準の見直しを行う。

② JAPEO等の機会を利用し、表示マーク制度の業界内外への啓蒙活動を行う。

③ AM施設への機械基準の啓蒙活動。

(4) 遊園施設に関する調査研究(遊園企画委員会/遊園技術委員会)

遊園施設に関する建築基準法をはじめとする関係法令の調査研究、および海外基準の情報収集・検討を行うとともに、コンプライアンスの周知徹底を図り、事故防止のための活動を一層強化する。また、昨年度末に改定された「遊園施設の技術基準の解説」017年度版の周知徹底を行う。

2. AM産業に関する技術開発・標準化事業

(1) 関係法令等の検討作業への協力(AM技術委員会)

安全・安心なアミューズメントマシンを消費者に提供するため、国が行う技術的な関係法規や基準等の検討を行う各種委員会に委員を派遣し、検討作業に協力するとともに、会員企業に速やかに情報提供を行う。

(2) JIS規格の策定事業(AM技術委員会/JIS検討分科会)

国による電気用品安全法技術基準のJISへの移行の流れに従い、アミューズメントマシンに求められる安全性を確保し、国際規格との整合性を図るため、アミューズメントマシンに関するJIS改正作業を継続して行う。

3. AM産業に関する情報の収集・提供及び展示会・講習会等の事業(AMマシンの振興(業界プロモーション、AM産業情報の収集、協会機関紙等による情報発信、HPコンテンツ拡充ゲームの日運営、クレーンゲームオブザイヤー)(調査統計部会/広報活動部会)

① AM業界の楽しさや現状を広く一般に理解してもらうため、ホームページを活用した業界プロモーション活動を実施する。

② 消費者に適切なAMマシンを提供するため、行政機関や関連団体等からの各種情報の収集に努めるとともに、ホームページ等を通じて会員に周知徹底を図る。

③ 一般消費者に対し、AM業界の楽しさや現状を広く理解してもらうため、展示会等の機会を利用してSNSに向けた業界動向、協会活動等についての情報発信を行う。

④ 協会広報誌により、JAIAの活動内容及びAMマシン業界に関する時宜にあつた情報提供を積極的に行う。

⑤ 一般消費者に対しゲームの日等の業界イベントを行い、国民の余暇活動の充実を図る。

⑥ 業界の統計調査を実施するとともに、調査結果を業界内外に提供する。

⑦ クレーンゲームのさらなる活性化を図るため、啓蒙イベント等実施について検討を行う。

(2) 展示会(JAPEO)の開催(JAPEO実行委員会)

(3) 関連法令、協会自主基準等に関する講習会の実施(広報活動部会)

(4) AM文化の海外への情報提供等(海外市場の拡大に向けた取り組み)(AM国際委員会)

(5) 遊園施設に関する安全対策の調査研究と安全講習会(遊園技術委員会)

本年度は新告示第247号遊園施設の客席部分の構造方法を定める件が4月1日から施行されたので、その主旨を踏まえ会員に周知徹底する。さらに、遊園施設の安全に関しては会員はもとより遊園地等で遊園施設に係るすべての関係者を対象に例年開催している「遊園施設安全管理講習会」を本年度は東京で開催する。

(6) 遊園施設に関する情報収集及び提供(遊園企画委員会)

4. AM産業に関する内外関係機関との交流事業(AMマシンの事業部/遊園施設事業部)

① 消費者に適切な映像を提供することを目的とし、映像関連の団体と映像表現の倫理に関する連絡会を開催し、団体間の情報交換を行う。

② (一社)コンピュータエンタテインメント協会との関連団体や、AM業界の周辺業界との連携を保ち、各種の情報収集を行う。

③ 業務用AM機器のアーカイブのあり方について情報を収集するとともに、協会としての取り組み方針を検討する。

④ 国土交通省、経済産業省、特定行政庁などの関係官庁及び(一財)日本建築設備昇降機センターをはじめとする関係団体との交流、役員・委員の派遣を行う。

(2) 海外の業界団体との交流(AM国際委員会/遊園施設事業部)

① 世界各国の法規制や商習慣等に関する情報収集及び市場調査を目的とし、海外のAM業界団体と協力関係の再構築を図り、交流を促進する。

② 韓国の遊園施設の団体である韓国遊園施設協会(KAAPA)等との情報交流を行う。

(3) 海外における知的財産権保護の活動(AM国際委員会/調査・統計部会/知的財産委員会)

会員企業の有する知的財産権を保護するため、中国、台湾、韓国等のアジアを中心として模倣行為に対する情報を収集するとともに対応策を検討する。

(4) IAPAとのミーティング・交流支援活動(遊園国際委員会)

遊園施設関係の国際的団体である米国のIAPAとのミーティングや情報交流を行い、海外の遊園施設に関する関係法令や標準並びに運営方法等の情報を収集する。

5. AM産業に関する登録事業(1) AMの表示マーク制度(倫理委員会/倫理審査委員会)

(2) 遊園施設に関する定期検査報告(遊園技術委員会)

(3) AMプライズ表示マーク制度(AMプライズ委員会)

(4) 中小企業等経営強化法に伴う証明書発行事業(遊園企画委員会/AM技術委員会)

常務理事



上山 辰美

一般社団法人
日本アミューズメント産業協会

専務理事



柴田 健

一般社団法人
日本アミューズメント産業協会

副会長



石井 光一

(株)タイトー
代表取締役会長

会長



里見 治

(株)セガホールディングス
取締役名誉会長

常任理事



内田 慎一

(株)友栄
代表取締役社長

常任理事



中川 実

三精テクノロジーズ(株)
代表取締役会長

常任理事



萩原 仁

(株)バンダイナムコアミューズメント
代表取締役社長

常任理事



山下 滋

(株)セガ エンタテインメント
取締役

理事



上田 和弘

(株)アスモ
代表取締役社長

理事



今泉 元秀

(株)カプコン
常務執行役員

理事



石原 雅文

(株)プロレバホールディングス
相談役

理事



浅尾 洋光

サノヤス・ライド(株)
代表取締役社長

理事



菊池 康男

(株)ワイドレジャー
代表取締役会長

理事



梶 修明

プレビ(株)
代表取締役社長

理事



沖田 勝典

(株)コナミアミューズメント
代表取締役社長

理事



岡田 拓志

(株)ゼムス
代表取締役

理事



阪口 一芳
(株)コーエーテックモウェーブ
代表取締役社長

理事



小林 一雄
北日本通信工業(株)
専務取締役

理事



熊谷 清司
(株)サッポロミュージメント
ファクトリー 代表取締役

理事



北嶋 良則
(株)タイトーOP統括本部
エグゼクティブアドバイザー

理事



筒井 雅久
(株)アミバラ
代表取締役

理事



田坂 吉朗
フリー(株)
代表取締役社長

理事



高島 省吾
泉陽興業(株)
常務取締役東京支社長

理事



佐藤 隼夫
(株)システムサービス
代表取締役社長

理事



湯之前 輝寿
(株)ラウンドワン
運営企画本部部长

理事



宮本 和彦
(株)共和コーポレーション
代表取締役社長

理事



藤原 信幸
(株)イオンファンタジー
代表取締役社長

理事



名村 宏
(株)バンダイナムコアミ
ミュージメント 監査役

監事



功刀 榮夫
功刀榮夫税理士事務所
税理士

監事



吉川 昌之
(株)バンプレスト
代表取締役社長

監事



今野 創
(株)ソニー
代表取締役社長

JAIA

役員

第1回施設営業事業部運営委員会

日時／平成30年5月14日(月)16時～16時55分
場所／JAA-A会議室
出席／委員長 石井光一
副委員長 山下滋、内田慎一
委員 柴田健、熊谷清司、小林一雄、梶修明、
宮本和彦、上田和弘、石原雅文、
岡田拓志、名村宏、湯之前輝寿
オブザーバー 鈴木剛夫

決議事項

1. 新体制について 任期満了に伴う役員改選について 柴田委員より施設営業事業部運営委員会メンバー構成の説明があり、次ことが提案・決議された。
◎6月のJAA-A総会に新副会長として予定していた菊池康男より、AOUの役員任期満了になること等から辞任の申し出があったため、石井光一氏を新たに副会長候補予定者とする。
◎施設営業事業部運営委員会の委員長に石井光一氏が就任。また、内田慎一氏を新たに副委員長とする。
◎菊池康男氏には、理事、九州・沖縄地区本部長及び福岡県本部長を引き続きお願いする。
◎会社経営体制の変更による石井学氏の理事辞任を承認。
2. QRコード課金システムについて 中国で爆発的に利用されているQRコード決済システムの日本版課金システムの構築に向け、マシン事業部から専門委員会起ち上げの提案があることが事務局から報告され、施設営業事業部としての関わりについて意見交換。結果、まずはハードの検討をマシン事業部中心で進め、その進捗に併せ施設営業事業部として動いていく方向を確認した。
3. 総会・全国情報交換会の交通費補助について 前年同様、県本部長(理事を除く)対象に、総会は交通費・日当(当日)、全国情報交換会は交通費のみ支給する旨、事務局から説明があり、承認された。
4. AOUSテックについて 事務局から提示された2案を検討、決定した。

報告事項

1. 平成29年度事業報告及び決算報告(AOU)の件 事務局から資料に基づき説明があった。
2. 年間行事予定

第1回店舗活性化推進委員会

日時／平成30年6月7日(木)10時～12時
場所／JAA-A会議室
出席／睦田在隆委員長はじめ委員10名
十オブザーバー2名+事務局2名

1. 平成30年度委員構成について 同委員会で規程されている「50歳定年制」に基づき、委員からオブザーバーとなるメンバー、新任メンバー、退任メンバー等が承認された。なお、新規委員の選任について次のように決めた。
①オペレーター枠：接客デモに参加している企業(会議出席等の負担軽減のため、本社が東京に近い企業)から選定する。
②メーカー枠：委員会活動を認識している企業に参加を呼び掛ける。
③プライズメーカー枠：専業メーカーで、現在参加していないプライズフェア企業より選出する。
2. 組織案ならびに副委員長について E-sport部会が当業界とそぐわないことから、原点に戻りJAPEPO活性化検討部会として活動することとした。なお、副委員長は各部会に一名ずつをおく。
3. 各部会活動方針について 各副委員長から部会活動方針が次の通り説明された。
「接客アモンストレーション部会」
今年度までは従来通りの形とするが、来年度以降はブラッシュアップして実施する方針。
「天下一音ゲ祭部会」
大会参加者へのノベルティに関し、コレクション性を訴求したものとする方向で準備を進める。なお、ノベルティが余った場合には、大会店舗のギャラリーへのプレゼント等を検討する。
「店舗支援運営部会」
年2回(6月、10月)の研修を開催。また、中小のオペレーター中心に店舗運営支援ツール等のダウンロードサービスを進める方針。
4. JAA-A会員外人員の業務委託について
5. 平成30年度予算について
6. JAPEPO日程の確認、他

ゲームセンターにおける景品の取り扱い

「景品提供を行う遊技機」における景品の取り扱いに関する綱領(平成2年12月20日)に基づき、「ゲームセンター等における景品の取り扱い要領」を次のように定める。

1. 目的

本要領は、ゲームセンター等における景品提供を適正に実施することにより善良の風俗の保持と少年の健全育成に障害を及ぼす行為を防止し、及び公正な競争秩序を確保することを目的とする。

2. 景品の価額

- (1) 景品1個の価額は、市販価額で800円を超えてはならない。
- (2) 景品価額は、一般市場における市販価額とする。
注)違反価額は、仕入方法が輸入、大量購入、製造者からの直接仕入れなどの如何を問わず、一般小売店において販売されている同一商品または類似商品との比較によって判断される価額である。

3. 景品の種類

提供する景品は、ゲームセンター等における正常な商習慣に照らして適合すると認められる物に限る。
次に掲げる物品は、設備または提供してはならない。
①タバコ及び喫煙器具類
②酒類
③医薬品、興奮・めまい・幻覚等の作用を有する有機溶剤を含む物品類
④性的好奇心をそそる図書、写真、フィルム、ビデオテープ、ビデオディスク・レーザーディスク・CD-ROM・DVD等の記録メディア類
⑤性的な行為の用に供する物品類及び性器を模した物品類
⑥ショーツ・ブラジャー等の下着類

- ⑦金券類及び類似品(テレホンカードなど)類
- ⑧食品衛生法に抵触する材料を使用した物品類
- ⑨偽造ブランド品や偽造キャラクターを使用したもの等、他社の知的財産権を侵害している物品類
- ⑩心身に危害を与える恐れのある物品類(レーザーポインター、刃物類等)
- ⑪動物愛護の精神に反する生物

4. 景品提供の方法

- (1) 1回の遊技結果に提供する景品の個数は、1個とする。
- (2) 景品は、予め表示されている景品と同一の景品でなければならない。
- (3) 景品と異なる高額なものをデモンストレーションとして展示してはならない。
- (4) カプセル内に品名や記号を記したチケットなどを入れ、これを景品と交換してはならない。
- (5) 提供した景品をもってほかの景品と交換してはならない。
- (6) 景品を手渡しで提供される仕組みの遊技の場合においても、本要領の定めるところにより景品の取り扱いを行わなければならない。
- (7) 風営適正化法に定めるいわゆる4号営業に用いられるパチンコ機、パチスロ機に類する遊技機、メダルゲーム、ビデオゲーム、フリッパーゲーム機等の遊技機を用いる遊技においては、景品を提供してはならない。

5. この取り扱い要領は平成22年1月1日から適用する。

内閣府からのお知らせ



青少年の非行・被害防止対策 公開シンポジウム



平成30年
7月20日(金)
14:00～17:00
(受付13:00～)

インターネットの危険から
青少年を守るために



シンポジウム
開催日時 7月20日(金) 14時～17時
開催場所 都市センターホテル3階「コスモスホールI」
東京都千代田区平河町2丁目4番1号
主催 内閣府
プログラム ①基調講演 竹内和雄氏(兵庫県立大学環境人間学部准教授) ②パネルディスカッション パネリスト: 滝澤依子氏(警察庁生活安全局少年課長)、大久保貴世氏(インターネット協会主幹研究員)、山下優子氏(セーフティーインターネット協会違法有害情報対策部長)、高橋誠氏(LINE(株)公共政策室公共政策担当)
参加費 無料
申込方法 インターネットもしくはFAXにて(7/18 正午締切)



都市センターホテル
3階「コスモスホールI」



内閣府では、昭和54年以来毎年7月を青少年の非行・被害防止に関する月間として定め、関係機関・団体等の協力を得て、国民意識の高揚、青少年の非行・被害防止への対応の強化を図っており、本年度は特にインターネット利用に係る犯罪被害等の防止に重点を置きつつ、各種取組を集中的に実施することとしています。

次代を担う青少年の育成は国民全体に課せられた責務であり、国、地方公共団体、関係団体等がそれぞれの役割及び責任を果たしつつ、相互に協力しながら、地域が一体となった青少年の非行・被害の防止のための取組を進めることが必要です。本取組の推進にご協力ください。

※同啓蒙活動には、日本アミューズメント産業協会も協賛団体として名を連ねています。

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です

「青少年の非行・被害防止対策公開シンポジウム」のご案内

日時/平成30年7月20日(金)14時～17時
場所/都市センターホテル3階「コスモスホールI」
東京都千代田区平河町2丁目4番1号

主催/内閣府
プログラム/①基調講演 竹内和雄氏(兵庫県立大学環境人間学部准教授)②パネルディスカッション パネリスト: 滝澤依子氏(警察庁生活安全局少年課長)、大久保貴世氏(インターネット協会主幹研究員)、山下優子氏(セーフティーインターネット協会違法有害情報対策部長)、高橋誠氏(LINE(株)公共政策室公共政策担当)
参加費/無料
申込方法/インターネットもしくはFAXにて(7/18 正午締切)

【お問い合わせ先】

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)青少年環境整備担当 TEL03-5253-2111(代表)FAX03-3581-1609
http://www8.cao.go.jp/youth/kankyou/hikouhigai/sympo/s_2/gaiyou.html

定時総会親睦ゴルフコンペ

「平成30年度JAIA定時総会」の翌日、6月7日、茨城ゴルフ倶楽部西コースにおいて、里見会長、石井副会長をはじめ32名が参加して親睦ゴルフコンペが開催された。

同コースは毎年女子プロの公式競技「サロンパスレディース」が開催されることで知られる。当日は雨予報だったが、ほとんど降られることなく、快適にラウンドしながら参加者は親睦を深めた。



里見治会長(右から2番目)を囲み、優勝の川井一功氏(株)ジー・ピー・エコーポレーション執行役員 AM 事業部長、右から3番目)、準優勝の松嶋義則氏(株)コミュニケーションワークス代表取締役社長、右端)、3位の川村康則氏(株)アムジー代表取締役会長、左端)



平成30年5月28日に開催された省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、下記の通り「夏季の省エネルギーの取組について」が決定されました(概略)。国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった省エネルギーに関する取組の推進が求められていることを踏まえ、夏季の省エネルギーの取組推進に一層ご努力下さい。

夏季の省エネルギーの取組について

——警察庁生活安全局保安課より——

我が国では平成27年7月に総合資源エネルギー調査会において「長期エネルギー需給見通し」を決定し、徹底した省エネルギーの推進により、2030年度に原油換算で「最終エネルギー消費で5,030万kl程度の省エネルギーを実施する」ことが示された。また、同7月、地球温暖化対策推進本部にて、温室効果ガスを2030年度に2013年度比26%減少させるという削減目標を含む、我が国の約束草案を決定した。この「日本の約束草案」や平成27年12月に合意されたパリ協定を踏まえ、平成28年5月に「地球温暖化対策計画」及び「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のため実行すべき措置について定める計画」が閣議決定され、地球温暖化対策の中でも徹底した省エネルギーの取組を進めていくこととなっている。

これらを実現・達成するためには、行動喚起型の国民運動を実施するとともに、産業界や政府、国民が一丸となって徹底した省エネルギーの取組を実施する必要がある。

本会議では従来から、エネルギーの需要が増大する夏季(6月～9月)及び冬季(11月～3月)に、省エネルギーの重要性を踏まえ、取組を浸透させるため、省エネルギー対策を決定し、政府自らの取組を確認するとともに、各方面に省エネルギーへの取組を呼び掛けてきた。2018年度夏季においても、省エネルギーの取組を決定し、政府自らが率先して取り組むとともに、国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった省エネルギーの取組をより一層推進することとする。

商業施設・アミューズメント施設視察会 開催のご案内

旧JAMMA・SC施設事業部会で
実施、メーカーとオペレーターの交
流の場としても機能しておりました
「施設視察会」をJAIAの事業と
して下記の通り開催します。今回は
昨年オープンした「イオンモール新
小松」を中心に石川県金沢・小松のA
M施設・商業施設を対象に行います。

日 時／平成30年7月12日(木)～13日(金)
一日目：アミューズメント施設、商業施設視察
SC施設事業部会
二日目：情報交換会（ゴルフコンペ）
集合／12時30分
金沢駅兼六園口（東口）交番前
参加費／30,000円
（一泊夕食、現地観光バス含む、税込）
（個室希望の場合、追加17,000円）

【宿 泊】山代温泉「ゆのくに天祥」
〒922-0298 石川県加賀市山代温泉19-49-1
TEL0761-77-1234 FAX0761-77-1260

【視察先】※変更の可能性あり
■金沢駅周辺のアミューズメント施設
■「アミュージウム小松」
■「イオンモール新小松」(モーリーファンタジー、楽市楽座)

【情報交換会】「ゴルフクラブ ツインフィールズ」
〒923-0062 石川県小松市里川町1番地
TEL0761-47-4500 FAX0761-47-4433
会費：25,000円(プレー代、昼食、パーティ代含む)

〈お問い合わせ〉JAIA AMマシン事業部(担当:片岡) E-mail kataoka@jaia.jp TEL03-3556-5522 FAX03-3556-5524

遊園施設事業部よりお知らせ

お問い合わせ / sakai@jaia.jp TEL03-6272-9071 FAX03-3556-5524(担当:酒井)

遊戯施設関連図書ご案内

『遊戯施設 定期検査マニュアル 2017年版』[最新版]

- ・JAIA会員
1冊 1,500円(税込・送料無料)
- ・遊園地協会会員、ウォータースライド安全
協会会員及び定期検査報告書提出会社
1冊 2,500円(税込・送料無料)
- ・その他の非会員
1冊 3,000円(税込・送料有料)

『遊戯施設 定期検査マニュアル(補足)』

『遊戯施設 セーフティダイジェスト』

『知っておきたい 遊戯施設の基礎知識』

- ・JAIA会員
1冊 500円(税込・送料無料)
- ・遊園地協会会員、ウォータースライド安全
協会会員及び定期検査報告書提出会社
1冊 800円(税込・送料無料)
- ・その他の非会員
1冊 1,000円(税込・送料有料)

「平成30年度 遊戯施設安全管理講習会」

最近の遊戯施設は、利用者の要求とともに多種多様となり、運動形態も多様化・高度化が進み、それに伴い大型化する機種も増えてきております。

これらの遊戯施設に対する安全確保には、遊戯施設を維持・管理する人々の日常の努力や確実な操作による運転などに負う部分が大切であることはいうまでもありません。

当協会では、設立以来遊戯施設の安全をテーマに「遊戯施設安全管理講習会」を開催しており、本年も以下の通り開催いたします。遊戯施設に携わる関係者及び遊戯施設の運行管理者・運転者、技術者など幅広くご参加ください。

開催期日／平成30年12月4日(火)

開催場所／家の光会館 7Fコンベンションホール
(東京都新宿区谷船河原町11 TEL03-3260-4791)

定員／120名

主催／一般社団法人日本アミューズメント産業協会

後援(予定)／国土交通省、東京都

協賛(予定)／(一財)日本建築設備・昇降機センター、東日本遊園地協会、西日本遊園地協会、日本ウォータースライド安全協会、(一社)東京都昇降機安全協議会

広報紙『JAIApress』発行をメールでお知らせします!

JAIA プレス編集部では、JAIA 会員に【JAIA 通信】として広報紙『JAIA プレス』(月刊)の発行のご案内を WEB 公開と同時にしています。メール本文の URL をクリックすると JAIA ホームページから『JAIA プレス』のページが開くようになっています。是非、ご登録ください。店舗・営業所単位でのご登録も OK です。



ご登録&お問い合わせは……fukawa@jaia.jp TEL03-6272-9401 FAX03-6272-9411